

大阪経済の情勢

(2022年12月指標を中心に)

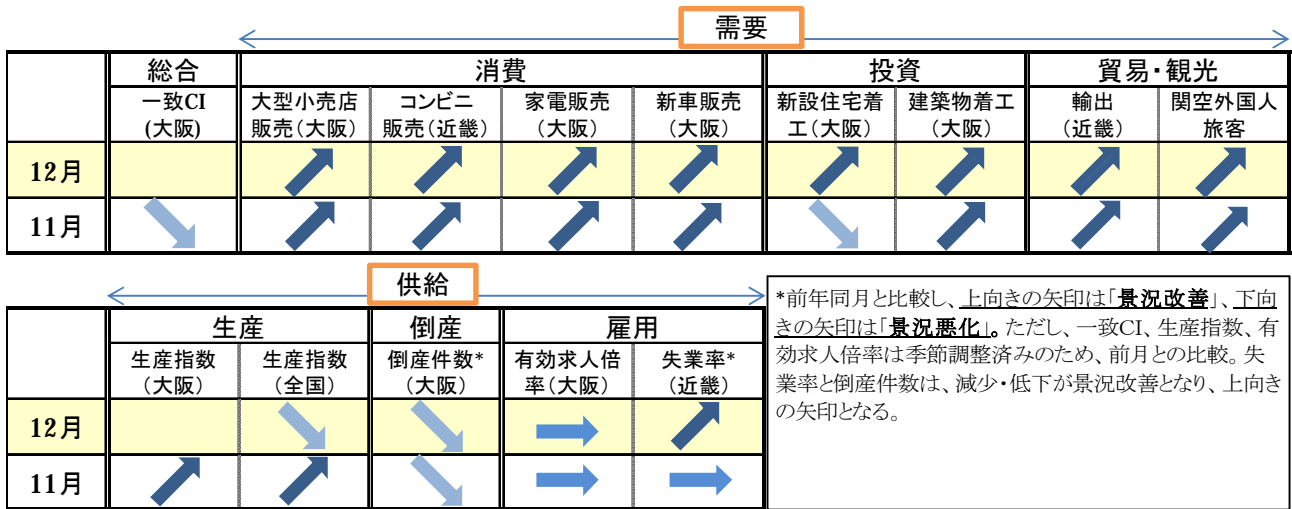
2023年2月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;11月)は増加。投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱含んでいる。大阪府(11月)では、生産、出荷とともに上昇。近畿の生産(11月)は低下。全国の生産(12月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(11月)は上昇。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価上昇等による経済への影響について、今後の動向に引き続き注意が必要。



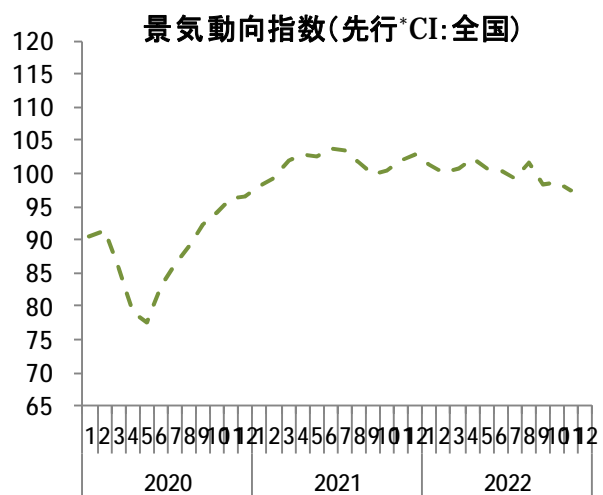
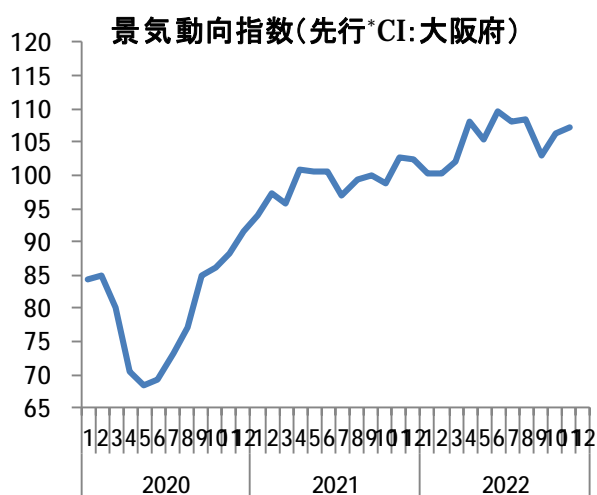
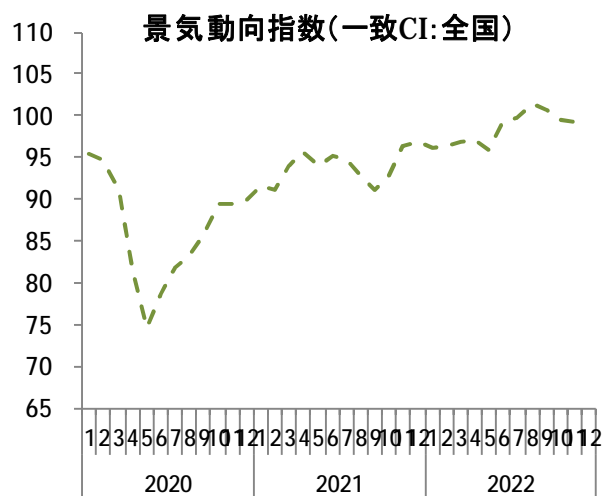
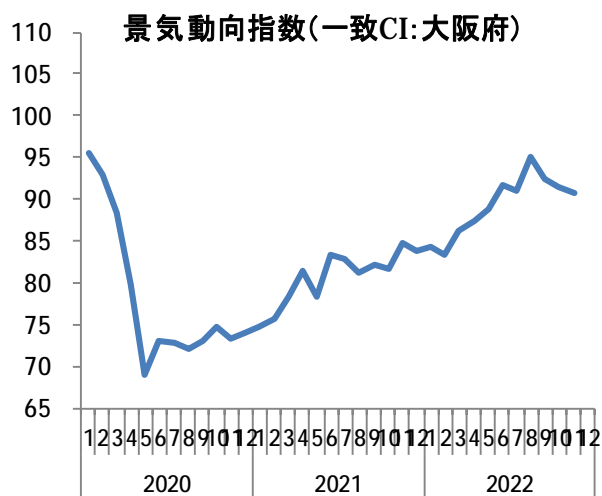
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2022年12月公表分) (2022年10月指標中心)	先月(2023年1月公表分) (2022年11月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、緩やかに持ち直している。	大阪経済は、緩やかに持ち直している。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、緩やかに持ち直している。	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	—	関西の景気は、感染症抑制と経済活動の両立が進むもとで、持ち直している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(11月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」「大阪税関管内輸入通関額」が低下に寄与。全国(11月)の一致CI、先行CIはともに低下。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

* 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	22年10月	11月	12月
先行CI	106.3	P 107.1	
一致CI	91.5	P 90.7	

	全国		
	22年10月	11月	12月
先行CI	98.6	97.4	
一致CI	99.6	99.3	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、11月速報)

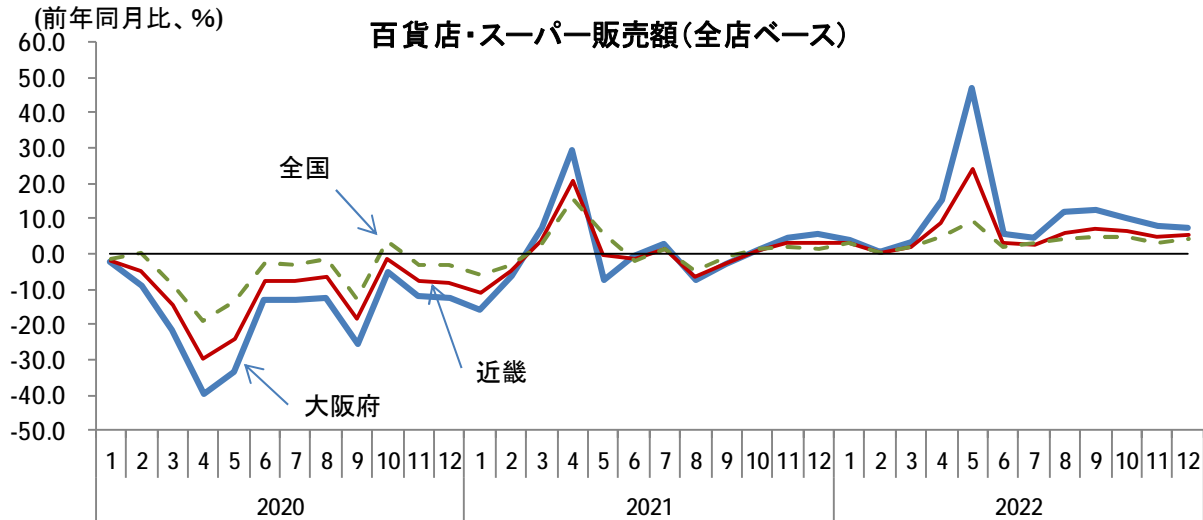
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
▲1.11	▲0.63	0.58	▲0.53	0.63	0.08	0.14

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;11月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【15ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		22年10月	11月	12月
販売額(億円)	大阪府	1,472	1,536	P 1,974
前年比(%)	大阪府	10.1	8.0	P 7.2
	近畿	6.6	4.7	P 5.4
	全国	4.9	3.0	P 4.1

百貨店販売額(全店)

		22年10月	11月	12月
前年比(%)	大阪府	19.4	12.3	P 8.6
	全国	10.9	4.1	P 3.7

スーパー販売額(全店)

		22年10月	11月	12月
前年比(%)	大阪府	1.7	3.5	P 5.6
	全国	2.8	2.6	P 4.2

○コンビニエンスストア販売額(全店)【13ヶ月連続の増加。】

		22年10月	11月	12月
販売額(億円)	大阪府	840	913	P 872
前年比(%)	大阪府	22.3	39.3	P 20.6
	近畿	13.3	21.2	P 9.0
	全国	6.5	7.9	P 3.9

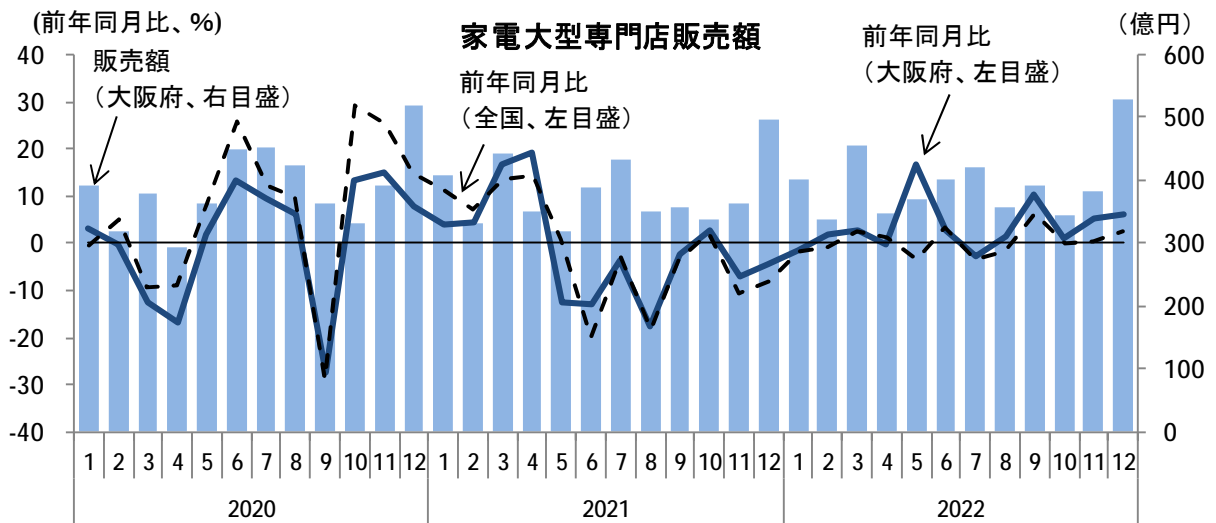
○家計消費支出【近畿(11月)は11ヶ月連続の増加。】

		22年10月	11月	12月
円	近畿	304,842	281,055	
前年比(%)	近畿	8.8	5.5	
	全国	5.7	3.2	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で5ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		22年10月	11月	12月
前年比 (%)	大阪府	1.2	5.1	P 6.2
	全国	0.1	0.3	P 2.5

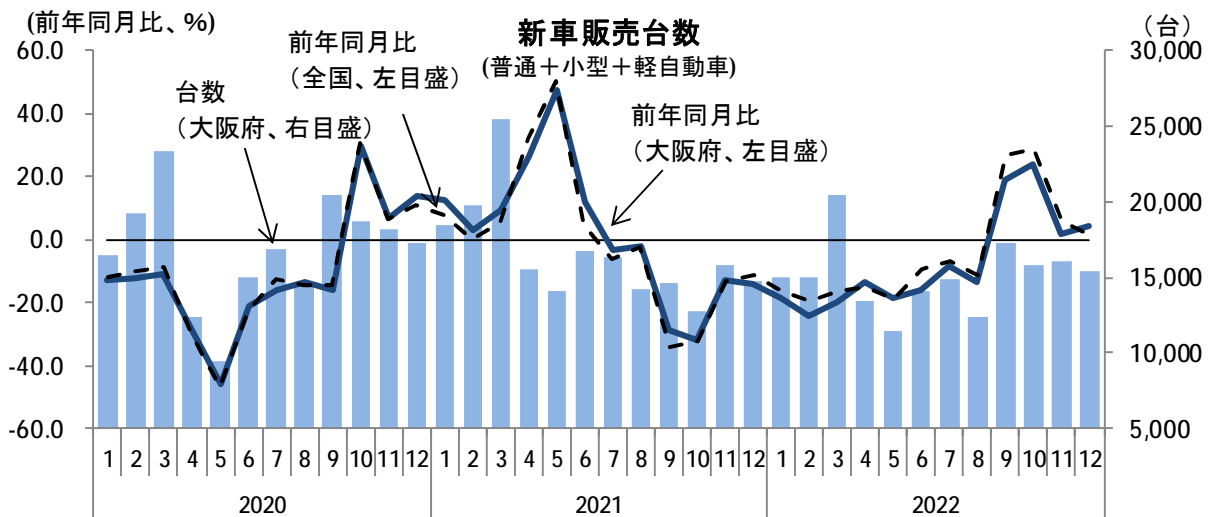
ドラッグストア販売額(全店)

		22年10月	11月	12月
前年比 (%)	大阪府	5.9	8.8	P 14.1
	全国	6.1	7.9	P 11.1

ホームセンター販売額(全店)

		22年10月	11月	12月
前年比 (%)	大阪府	▲2.0	▲2.4	P 2.2
	全国	1.7	▲1.3	P 2.8

○新車販売台数【前年同月比で4ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		22年10月	11月	12月
販売額(台)	大阪府	15,777	16,083	15,376
前年比 (%)	大阪府	24.1	1.6	3.9
	全国	28.3	5.6	1.5

車種別の増減

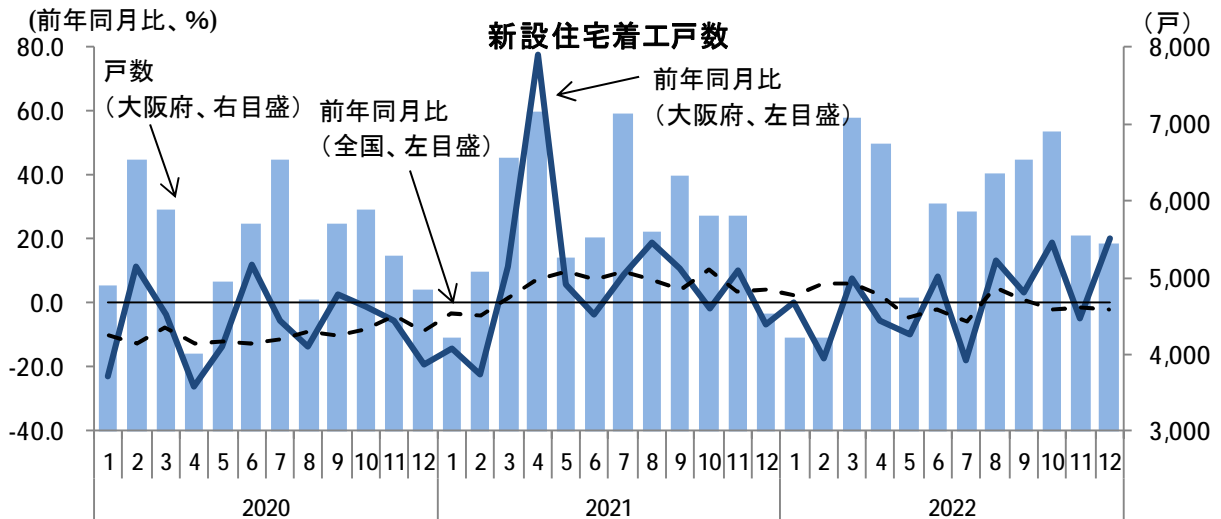
(大阪府、前年同月比(%))、12月)

普通車	小型車	軽自動車
▲2.1	▲1.5	23.3

[需要] 投資

投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月ぶりの増加。】

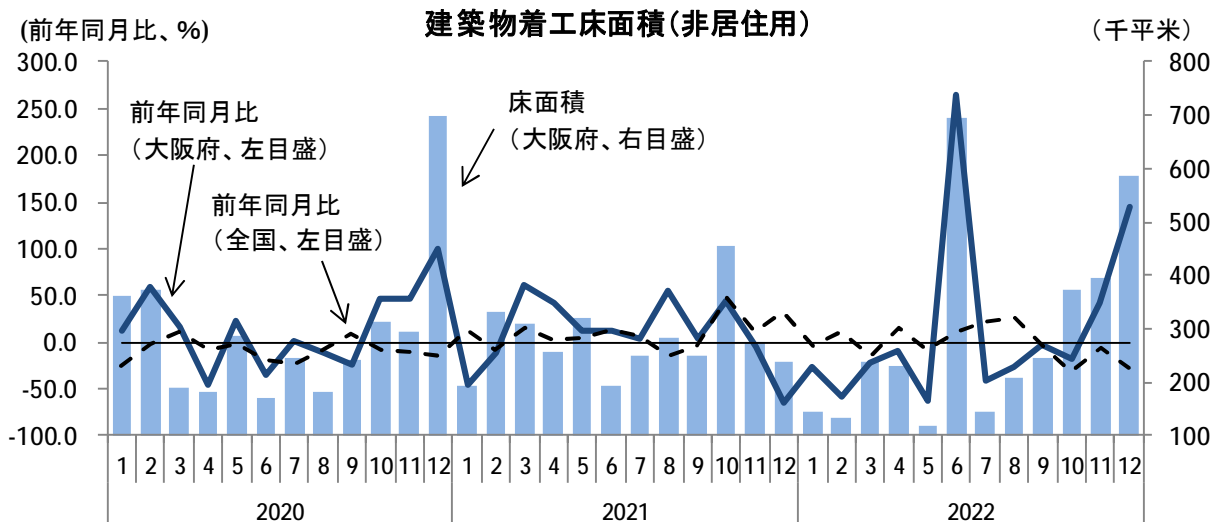


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		22年10月	11月	12月
戸数	大阪府	6,888	5,539	5,443
前年比 (%)	大阪府	18.7	▲4.7	20.1
	全国	▲1.8	▲1.4	▲1.7

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%))、12月)		
持家	貸家	分譲
▲15.1	64.0	▲11.2

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

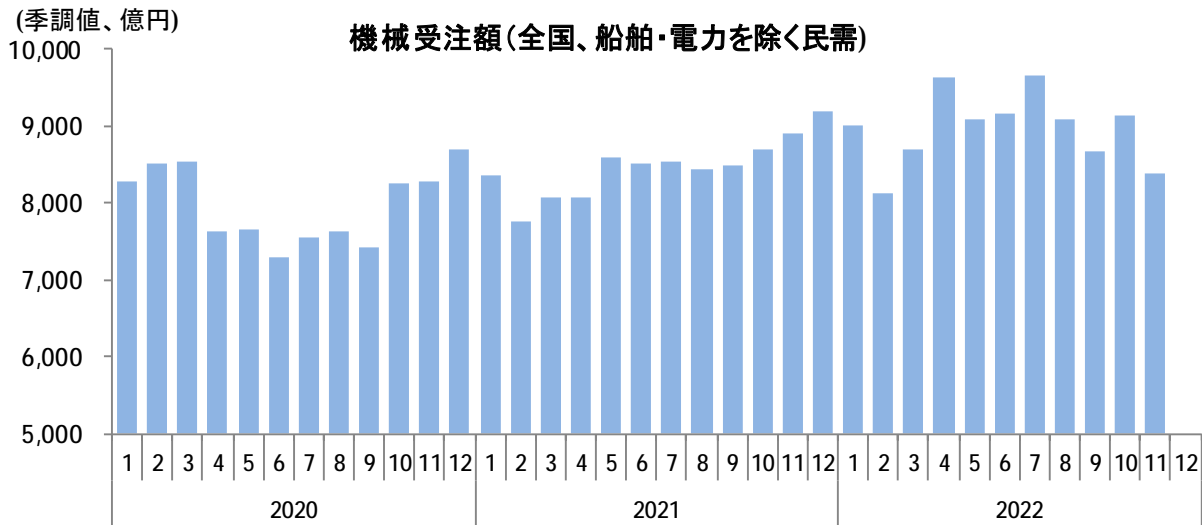
		22年10月	11月	12月
千 m ²	大阪府	373	395	585
前年比 (%)	大阪府	▲18.0	42.9	144.8
	全国	▲32.4	▲6.0	▲28.6

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、12月)	
増加	運輸業(154.4)
減少	宿泊業・飲食サービス業(▲14.8)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

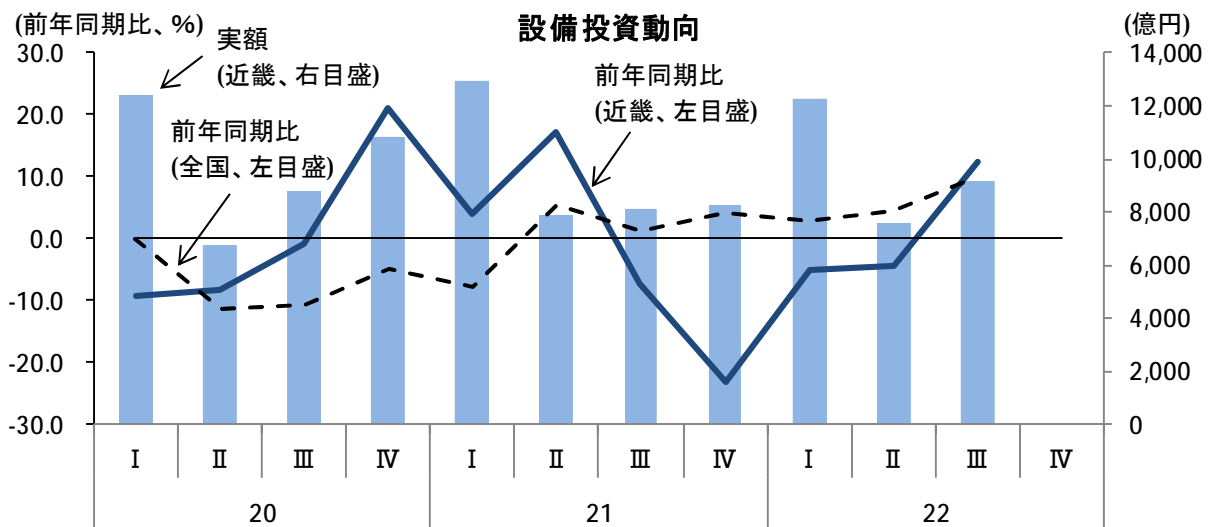
○機械受注額【11月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	22年10月	11月	12月
全国(億円)	9,147	8,388	

○設備投資動向【7~9月期(近畿)は前年同期比で5期ぶりの増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		22年1~3月	4~6月	7~9月
億円	近畿	12,278	7,557	9,160
前年同期比 (%)	近畿	▲5.0	▲4.3	12.3
	全国	3.0	4.6	9.8

○公共工事請負金額【5ヶ月連続の増加。】

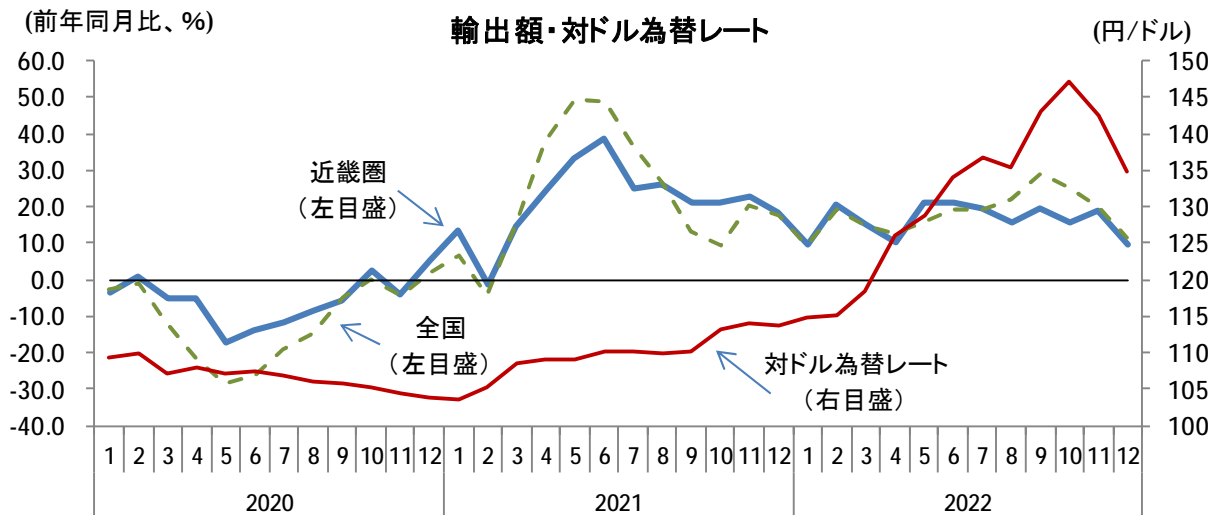
		22年10月	11月	12月
億円	大阪府	440	244	252
前年比 (%)	大阪府	4.6	1.0	13.0
	全国	▲1.9	▲7.6	▲8.4

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【22ヶ月連続の増加。「鉱物性燃料」、「映像機器」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】

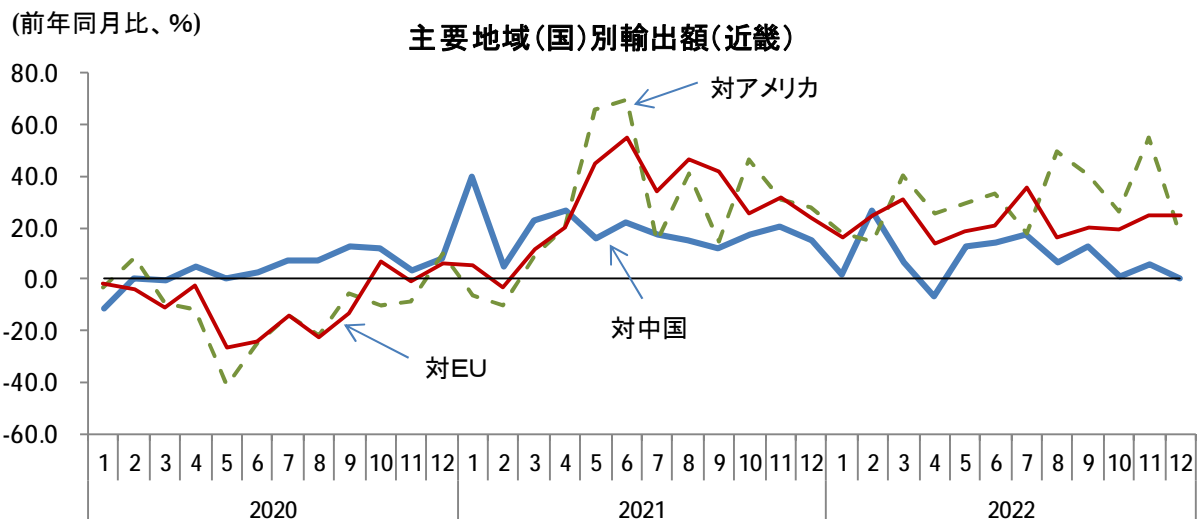


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		22年10月	11月	12月
輸出額(億円)	近畿	20,017	18,981	P 19,301
前年比 (%)	近畿	15.6	18.9	P 9.5
	全国	25.3	20.0	P 11.5
為替レート(円/ドル)		147.01	142.44	134.93

品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、12月)	
増加	鉱物性燃料、映像機器
減少	遊戯用具、半導体等電子部品



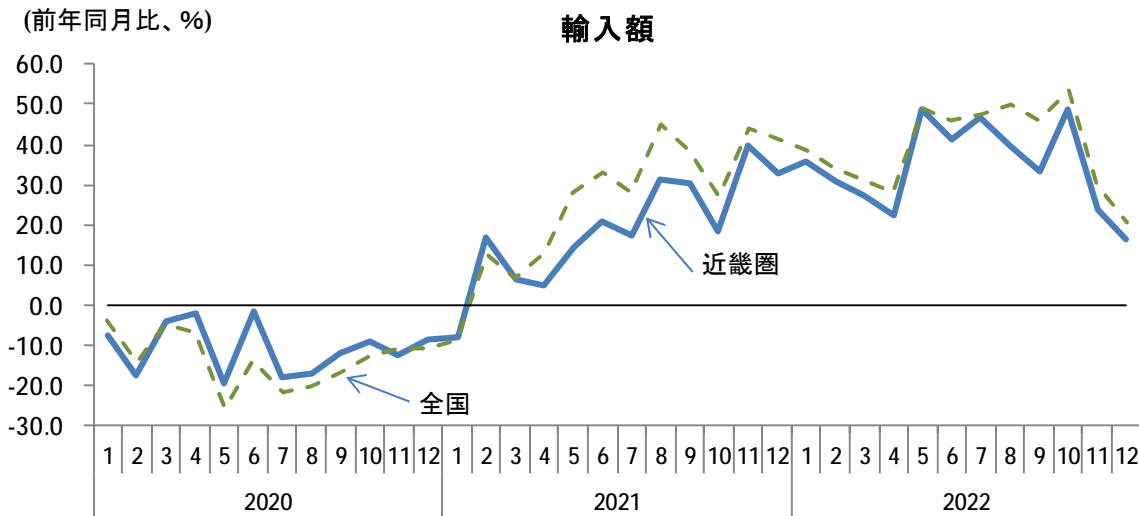
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、12月)

アジア(含む中国)	4.0	25ヶ月連続の増加
中国	0.2	8ヶ月連続の増加
ASEAN	13.6	22ヶ月連続の増加
EU	25.0	22ヶ月連続の増加
アメリカ	16.2	22ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【23ヶ月連続の増加。「原油及び粗油」、「天然ガス及び製造ガス」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		22年10月	11月	12月
輸入額(億円)	近畿	19,382	P 18,775	P 17,211
前年比 (%)	近畿	48.6	P 23.9	P 16.4
	全国	53.7	P 30.3	P 20.6

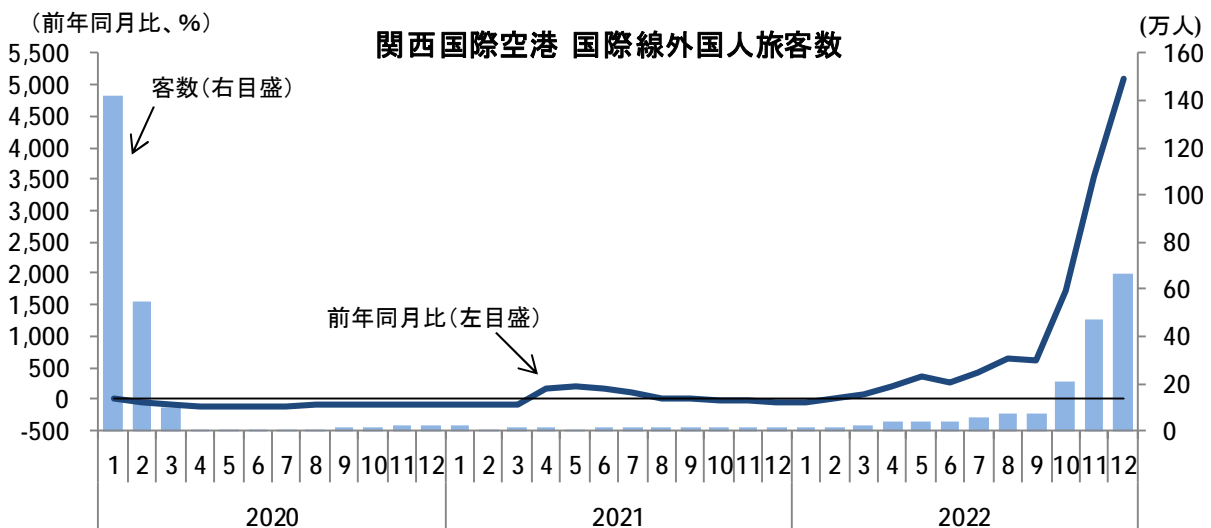
品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、12月)

増加	原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス
減少	鉄鉱石、たばこ

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、12月

アジア(含む中国)	10.2	23ヶ月連続の増加
中国	4.4	8ヶ月連続の増加
ASEAN	18.7	23ヶ月連続の増加
EU	▲2.1	3ヶ月ぶりの減少
アメリカ	30.3	8ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で11ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

	22年10月	11月	12月
万人	21.0	P 47.1	P 66.3
前年比(%)	1726.5	P 3549.2	P 5096.5

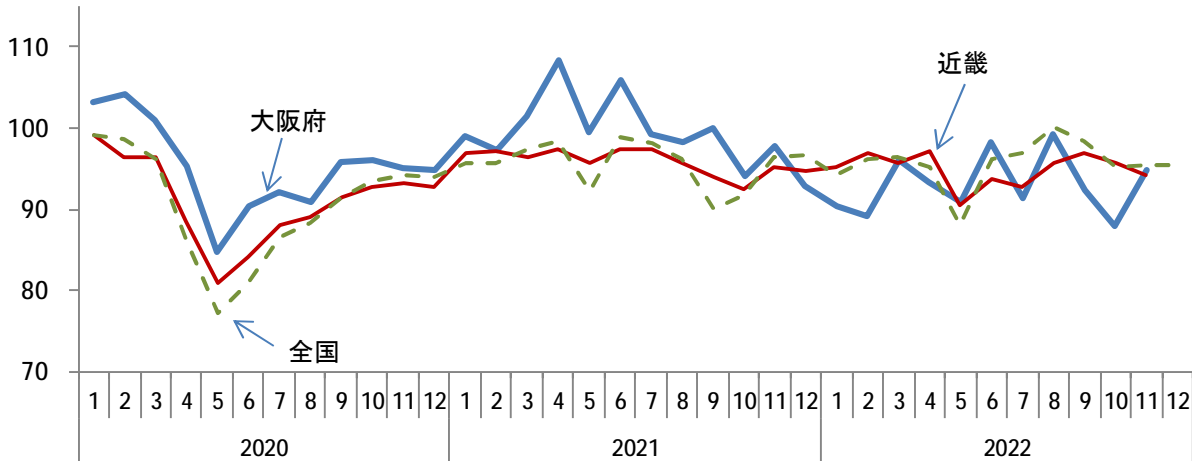
[供給] 生産・企業活動

生産動向は、弱含んでいる。大阪府(11月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(11月)は低下。全国の生産(12月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

○鉱工業生産指数【大阪府(11月)は3ヶ月ぶりの上昇。「化学工業」、「金属製品工業」などが上昇。近畿(11月、鉱工業)は2ヶ月連続の低下。全国(12月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの低下。】

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	22年10月	11月	12月
大阪府	87.9	P 94.7	
近畿	95.6	94.2	
全国	95.3	95.5	P 95.4

鉱工業出荷指数

季調済	22年10月	11月	12月
大阪府	88.7	P 92.2	
近畿	98.9	93.6	
全国	93.5	93.4	P 92.7

生産指数における産業別の主な変動

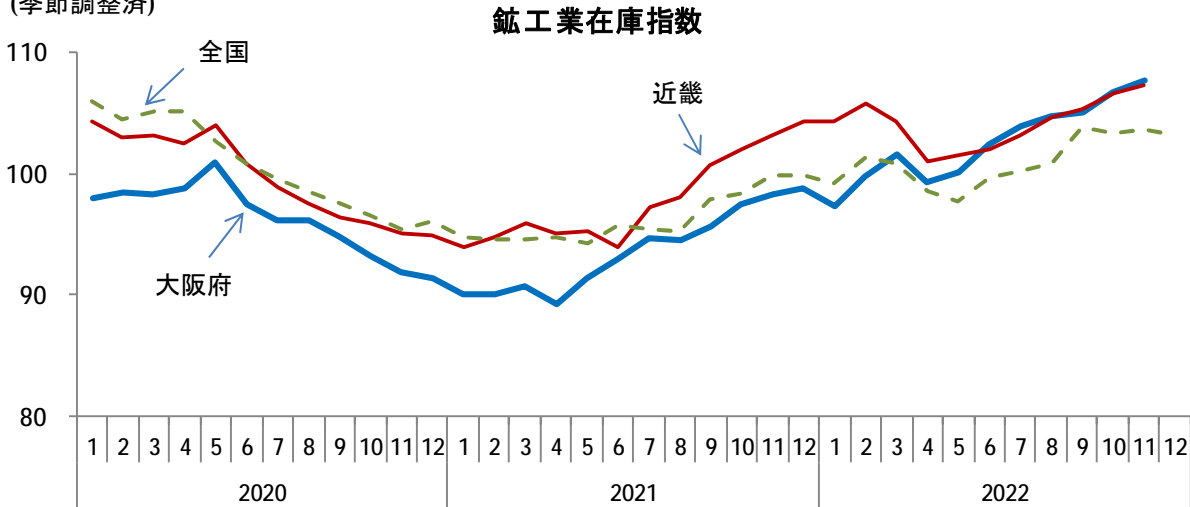
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、11月速報)

上昇	化学工業(17.1):医薬品、フルオロカーボン
	金属製品工業(15.7):飲料用アルミニウム缶、橋りょう
低下	電気・情報通信機械工業(9.6):セパレート形エアコン(室外)、アーク溶接機
	プラスチック製品工業(▲9.3):プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製機械器具部品
	その他工業(▲3.1):マーキングペン、ガラス製魔法瓶
	石油・石炭製品工業(▲7.9):ナフサ、重油

[供給] 生産・企業活動

○**鉱工業在庫指数【大阪府(11月)は7ヶ月連続の上昇。「化学工業」、「輸送機械工業」などが上昇。近畿(11月)は7ヶ月連続の上昇。全国(12月)は2ヶ月ぶりの低下。】**

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

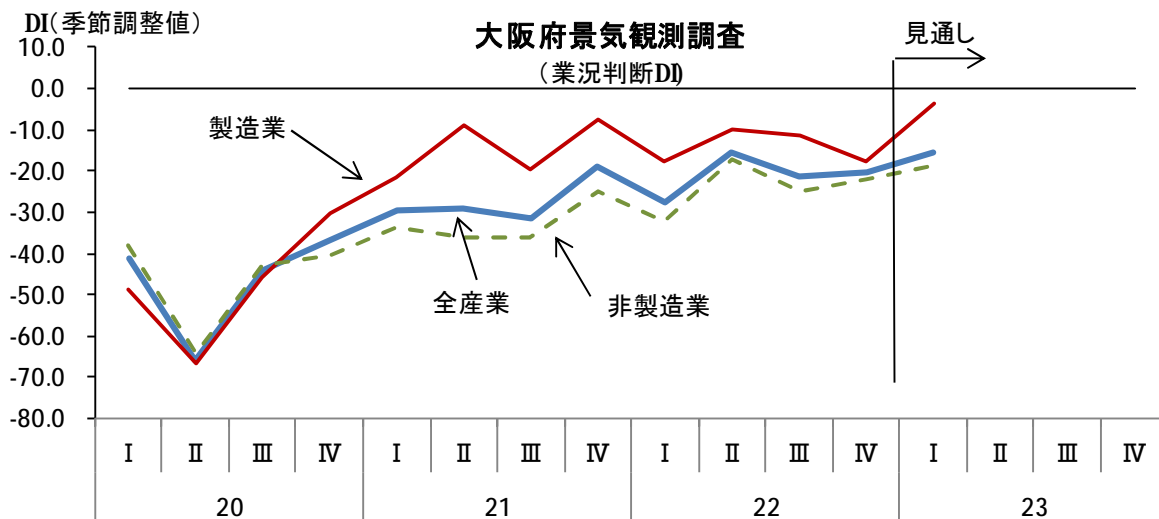
鉱工業在庫指数

季調済	22年10月	11月	12月
大阪府	106.6	P 107.7	
近畿	106.5	107.3	
全国	103.3	103.6	P 103.1

在庫指数における産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、11月速報)

上	化学工業(10.6):アンモニア、石けん類
昇	輸送機械工業(36.4):電動アシスト自転車
低	鉄鋼・非鉄金属工業(▲2.9):鉄鋼切断品、鋼半製品
下	石油・石炭製品工業(▲12.6):灯油、液化石油ガス

○**企業の業況判断【10~12月期(全産業)は2期ぶりの改善。】**

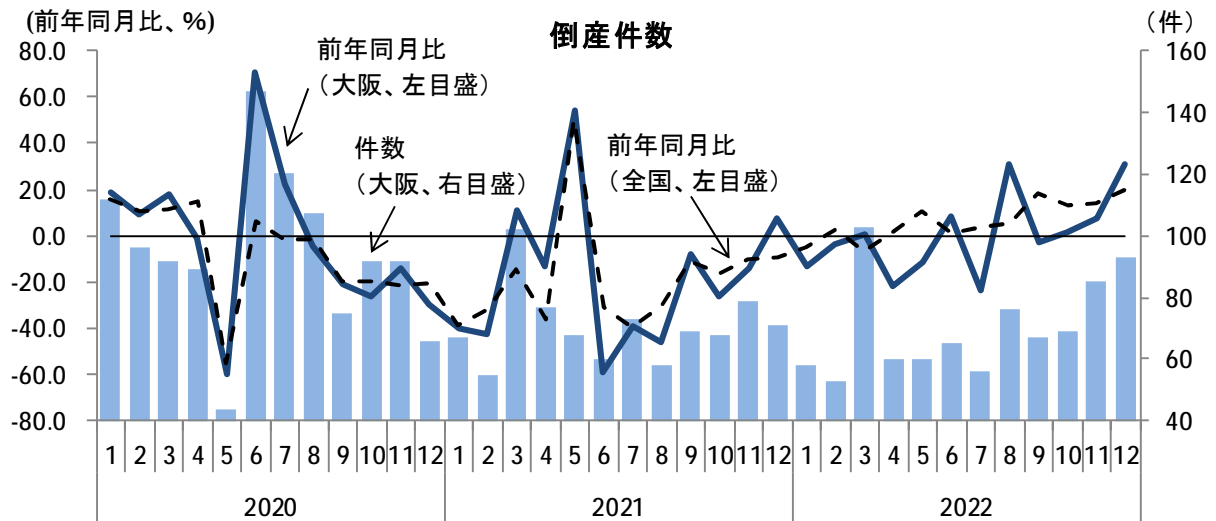


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	22年 4~6月	7~9月	10~12月	23年1~3月 (見込み)
製造業	▲10.2	▲11.2	▲17.8	▲3.7
非製造業	▲17.1	▲24.9	▲22.1	▲18.8
全産業	▲15.8	▲21.3	▲20.3	▲15.4

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で3ヶ月連続の増加(悪化)、負債金額は前年同月比で3ヶ月連続の増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		22年10月	11月	12月
件	大阪府	69	85	93
前年比 (%)	大阪府	1.4	7.5	30.9
	全国	13.5	13.9	20.2

負債金額

		22年10月	11月	12月
億円	大阪府	56	76	99
前年比 (%)	大阪府	28.1	55.2	187.9
	全国	▲11.6	22.8	▲15.0

主要業種の倒産件数(大阪府)

	22年10月	11月	12月
建設業	8	13	15
製造業	6	11	6
卸売業	3	9	12
小売業	13	13	11
サービス業他	32	25	32

主な倒産(大阪府、12月)

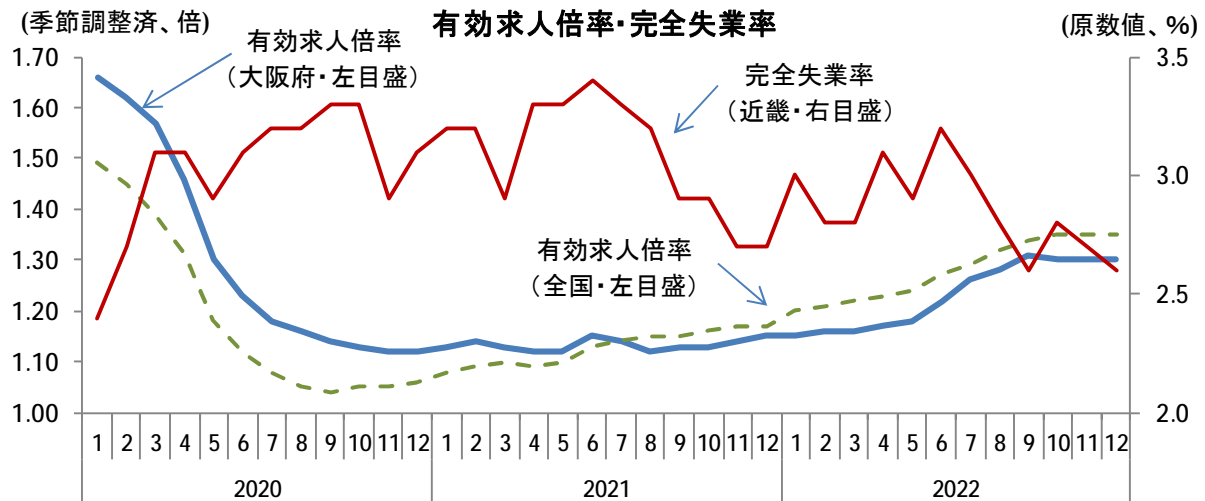
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
産業廃棄物収集運搬業	1,612	販売不振
タクシー業	1,200	販売不振
食品加工工場建設工事ほか	1,000	売掛金等回収難
一般貨物自動車運送業	581	販売不振
不動産管理	500	他社倒産の余波
貿易業、雑貨販売	400	販売不振
飲食店経営	391	販売不振
不動産売買	360	販売不振
広告制作	351	販売不振

[供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(11月)は上昇。

○完全失業率【近畿は前年比で2ヶ月ぶりの改善】

有効求人倍率【大阪は前月比横ばい】、新規求人倍率【大阪は4ヶ月ぶりの低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	22年10月	11月	12月
%	2.8	2.7	2.6
前年同月差	▲0.1	0.0	▲0.1

完全失業率(全国、季節調整値)

	22年10月	11月	12月
%	2.6	2.5	2.5
前月差	0.0	▲0.1	0.0

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	22年1~3月	4~6月	7~9月
大阪府	2.9	3.6	3.3
近畿	2.8	3.1	2.8
全国	2.7	2.7	2.6

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	22年10月	11月	12月
大阪府	1.30	1.30	1.30
全国	1.35	1.35	1.35

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	22年10月	11月	12月
大阪府	2.61	2.72	2.67
全国	2.33	2.42	2.39

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

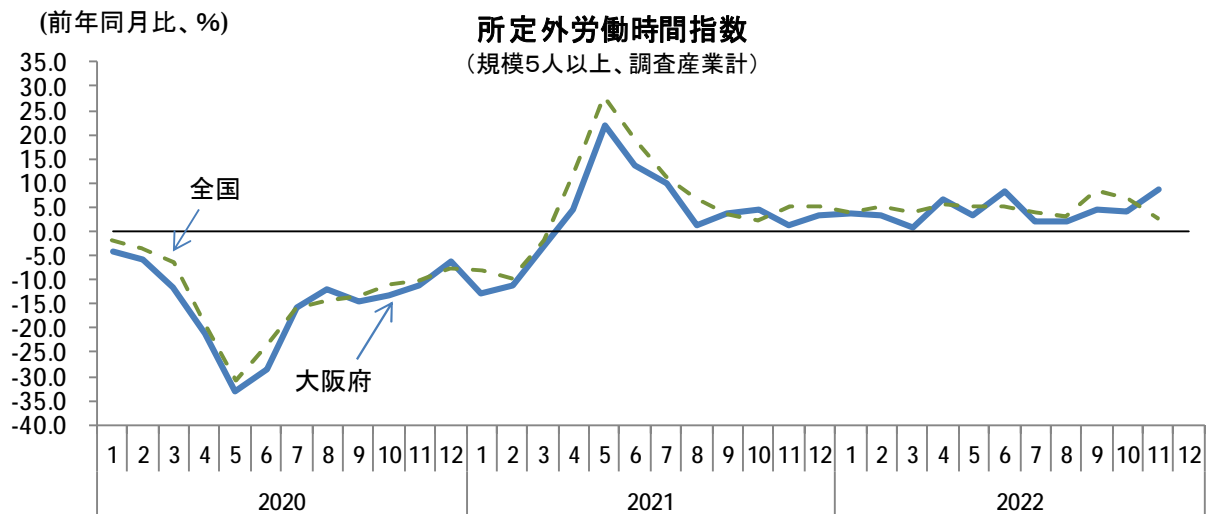
	22年10月	11月	12月
産業計	9.3	7.1	2.4
建設業	6.7	4.3	▲25.7
製造業	12.5	0.1	▲2.7
卸売業、小売業	12.5	14.4	18.8
宿泊業、 飲食サービス業	31.7	9.7	15.3
医療、福祉	2.5	5.2	▲0.5

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

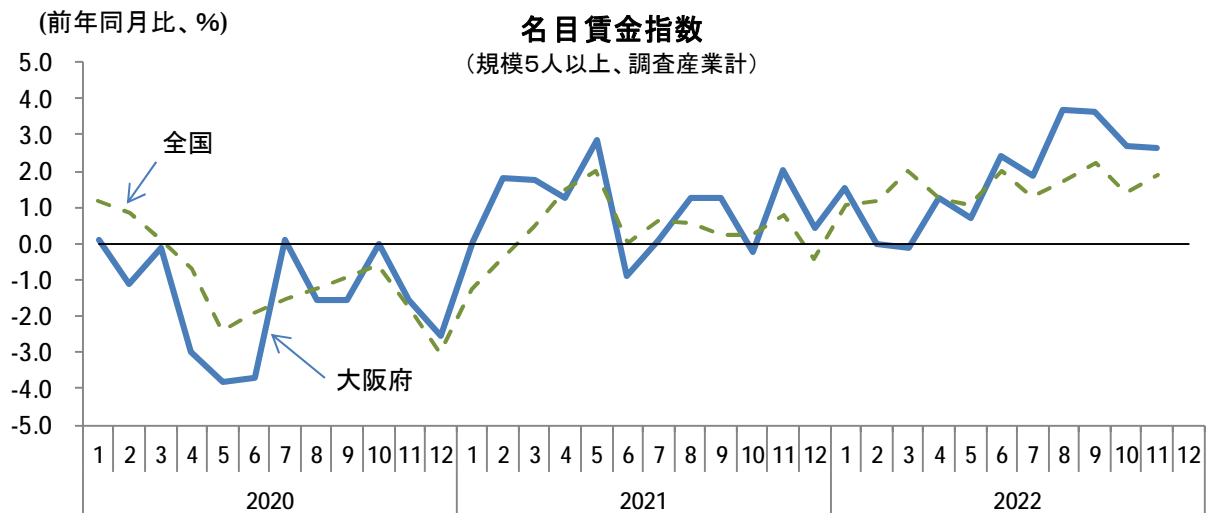
○所定外労働時間指数【大阪府(11月)は20ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		22年10月	11月	12月
指数	大阪府	110.6	112.9	
前年比 (%)	大阪府	4.2	8.9	
	全国	6.9	2.7	

○名目賃金指数【大阪府(11月)は前年同月比で8ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

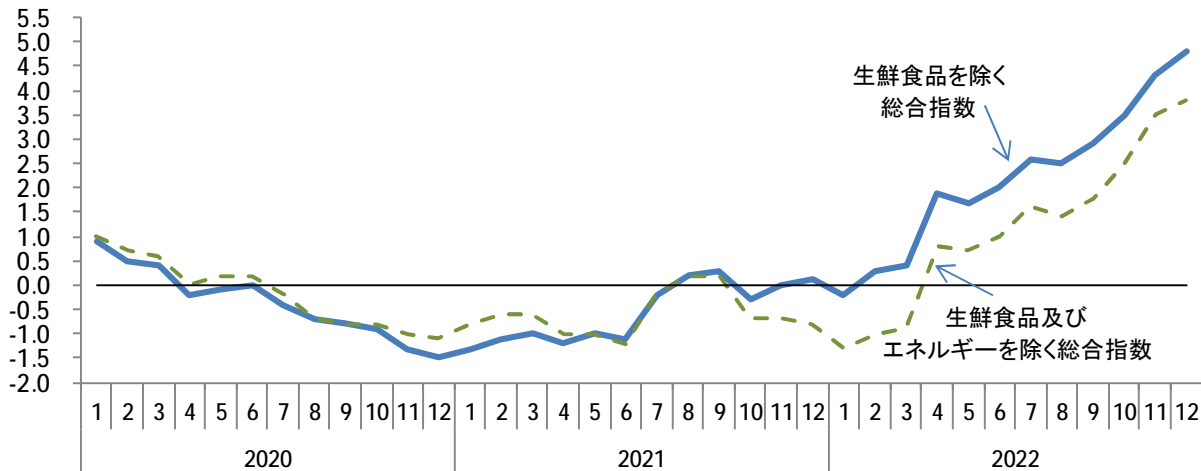
		22年10月	11月	12月
現金給与総額(円)	大阪府	286,655	292,652	
前年比 (%)	大阪府	2.7	2.6	
	全国	1.4	1.9	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 11 ヶ月連続の上昇。「食料」「光熱・水道」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 9 ヶ月連続の上昇。】

(前年同月比、%)

消費者物価指数(大阪市)



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

総合指数

		22年10月	11月	12月
指数	大阪市	103.2	104.0	P 104.2
前年比 (%)	大阪市	3.8	4.5	P 4.8
	全国	3.7	3.8	4.0

生鮮食品を除く総合指数

		22年10月	11月	12月
指数	大阪市	102.8	103.7	P 104.2
前年比 (%)	大阪市	3.5	4.3	P 4.8
	全国	3.6	3.7	4.0

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		22年10月	11月	12月
指数	大阪市	101.5	102.4	P 102.7
前年比 (%)	大阪市	2.5	3.5	P 3.8
	全国	2.5	2.8	3.0

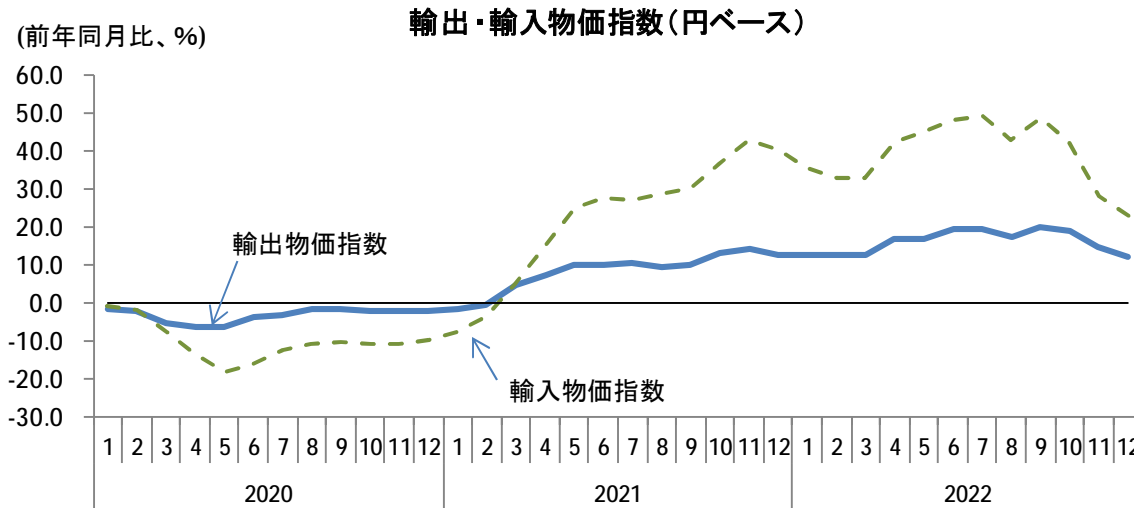
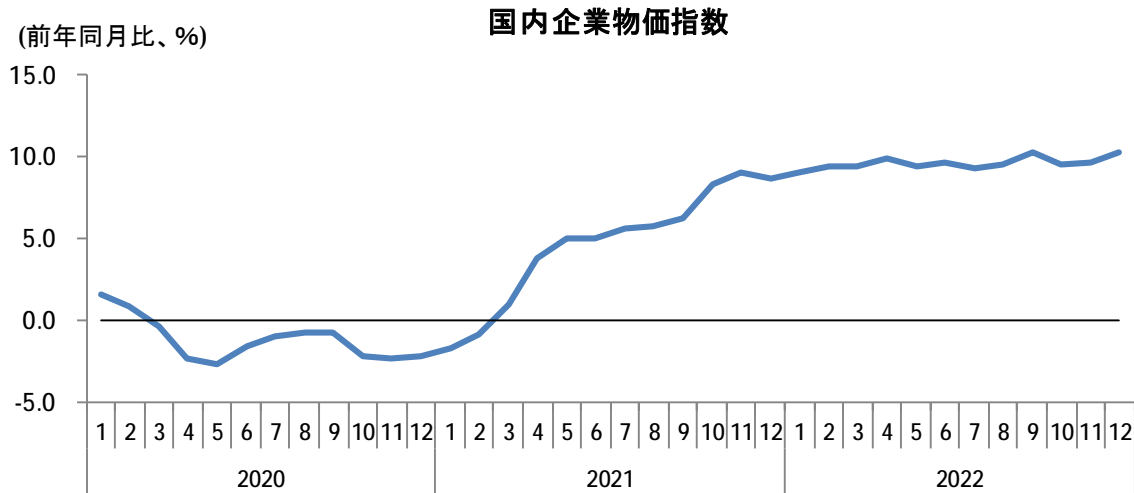
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%))、寄与度順、12月速報)

上昇	食料(8.3):魚介類(さけ、いわし、いくら)、穀類(中華麺、スパゲッティ、あんパン)
	光熱・水道(15.0):ガス代(都市ガス代、プロパンガス)、電気代(電気代)
低下	教養娯楽(▲0.8):教養娯楽サービス(テーマパーク入場料、宿泊料、サッカー観覧料)

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は2020年=100。

	企業物価指数		
	22年10月	11月	12月
国内企業物価指数	118.0	118.9	P 119.5
輸出物価指数	133.5	130.6	P 126.5
輸入物価指数	188.5	178.6	P 171.2

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2020年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(12月速報、寄与度(%))	
上昇	電力・都市ガス・水道 (0.28) : 事業用電力
	石油・石炭製品 (0.17) : B重油・C重油、ジェット燃料油、軽油
	農林水産物 (0.04) : 鶏卵、精米、鶏肉
低下	化学製品 (▲0.04) : キシレン、ベンゼン、スチレンモノマー
	木材・木製品 (▲0.02) : 住宅建築用木製組立材料、集成材、普通合板
	生産用機器 (▲0.01) : 金型、ロボット、プレス機械